出雲國たたら風土記

～鉄づくり千年が生んだ物語～

（写真）
構成文化財の一つ「飯梨川と赤江の新田開発」。上流の鉄穴流しにより何度も下流を襲った洪水は長い年月をかけて安来平野を形成しました。

日本遺産認定継続 重点支援地域に

安来市

和鋼博物館

鉄の道文化圏推進協議会（安来市、雲南市、奥出雲町で構成）で平成28年4月25日に認定を受けていた日本遺産が、本年7月29日付けで認定継続を受け、さらに他地域のモデルとなる「重点支援地域」に選定されました。

日本遺産「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」では、圏域の景観や文化に大きな影響を与えてきた「たたら製鉄」が、今もこの地に息づいていることを物語として描いています。

今月号では、認定から6年が経過したことに伴い、継続審査に提出した「日本遺産を通じた地域活性化計画（以下、地域活性化計画）」の一部と、「たたら製鉄の関連イベント」を紹介します。

日本遺産（Japan Heritage）とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

平成27年度から令和2年度までの6年間で、全国で104件が認定。島根県内では7件が認定されています。

奥出雲たたらと刀剣館

菅谷たたら山内

ゲートウェイ（玄関口）の強化（地域活性化計画一部抜粋）

圏域の各市町には、日本遺産の構成文化財等を紹介する施設「和鋼博物館（安来市）」「菅谷たたら山内（雲南市）」「奥出雲たたらと刀剣館（奥出雲町）」があり、それぞれに特色ある位置づけのもとに整備されてきました。

しかし、日本遺産ストーリーのガイダンス（案内）が十分ではなかったため、ゲートウェイとしての機能強化が求められています。

そのためにも、統一的なデザイン物の設置や印刷物の配架などによって重点的にゲートウェイ機能を強化し、来訪者が日本遺産のストーリーに興味が持てる仕組みづくりを行っていきます。

また、ゲートウェイ機能を補完する意味でも、コーディネートできる人材や観光ガイドなどの育成と活用を図る必要があると考えています。

今後も圏域一体となって、構成文化財の保存・継承を図るとともに、観光客の受入体制の整備やさらなる認知度向上に向けた取り組みを進め、地域全体の観光振興につなげていきます。

初の一般公開

古代たたら復元操業の一般参加者を募集します

古代たたらの復元操業に参加してみませんか。

粘土で釜土を作ったり、炉に風を送るため交代で鞴（ふいご）を踏んだりするなど、古代たたら操業を体験することができます。

日時・内容

10月6日㈭8時45分～16時45分・釜土作りなど
10月7日㈮8時45分～16時45分・築炉など
10月8日㈯6時30分～16時45分・操業など

場所　和鋼博物館前広場

参加料　無料

見学　作業時間内であればどなたでも自由に見学できます。申し込みは不要です。

体験（3日間）（要申込）　▽釜土作り、炭割り、築炉、鞴踏みなどの作業をします　▽1日単位でも体験できます　▽旅費や食事などは各自で手配ください　▽募集人数：15人　▽定員になり次第、締め切ります

●関連イベント

特別講演「製鉄伝播の点と線 ～製鉄の起源とアジア・日本への展開～」

講演を通して鉄に関する文化に触れてみませんか。

日時　10月7日㈮15時～16時30分

場所　和鋼博物館映像ホール

講師　村上恭通 氏（愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター長・教授）

募集人数　先着100人

参加料　無料

申込締切　10月6日㈭

企画展示「日本刀　収蔵品展」

和鋼博物館収蔵品の中から、日本刀を展示します。

日時　10月1日㈯～16日㈰

場所　和鋼博物館第2展示室

入館料　大人310円、高校生210円、中学生以下無料

※常設展示も観覧できます

問い合わせ　☎和鋼博物館　23-2500